

特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会

2023 年度（令和 5 年度）

事業報告書

（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）

2023 年度の総括

2023 年度は、まず（公財）日本非営利組織評価センターより、非営利組織の中でも組織運営やガバナンスが一定水準以上のレベルの団体として、グッドガバナンス認証を受けたことを報告させていただきます。また、本協議会の事業については、新型コロナウイルス感染症の影響もなく順調に推移しました。特に、本協議会が事務局を担う「ワン・ワールド・フェスティバル」は、従来の大阪市・北区・扇町地区から大阪駅のうめきたに隣接している「梅田スカイビル」に会場を移しての開催となりました。

それでは、2023 年度の本協議会の活動を事業項目に沿って報告させていただきます。

まず、NGO/NPO のプラットフォームとしての役割を担う活動として、昨年に引き続き会員との連携及び情報交換の目的で、メールマガジンを 26 回配信することができました。また、Twitter 及び Facebook 等の SNS を活用しながら、情報を有効に拡散し、イベントへの集客に貢献することができました。今後も会員メンバーとの情報交換を密にすることで、有用な情報を会員間で相互に交換できるネットワークの強化に努めて参ります。

本協議会が事務局機能を担う「ワン・ワールド・フェスティバル」は、新会場「梅田スカイビル」での開催となり、空中展望台に訪れたインバウンドの観光客も会場を訪れ、従来にも増して国際交流の「場」となりました。今回の特徴は、各会場が至近距離（コンパクト）の開催となったため、各会場ともに賑わっていたことです。梅田ステラホールで開催された「出展ブース」では 79 団体（81 ブース）が出展し、5 つのグループに分けて SDGs の活動を紹介しました。出展団体の様々な活動を「見て、聞いて、理解する」ことができる貴重なコンテンツに、SDGs の勉強のために団体で訪れる中学生もあり、多くの来場者に会場は熱気に包まれました。梅田ステラホール・ホワイエでは「ステージプログラム」、4 階の会議室では「セミナー」をそれぞれ開催しました。各プログラム共に多くのお客様が訪れ「一緒に考え・一緒に楽しむ」ことができました。また、屋外の「ワンダースクエア」では、世界の料理をキッチンカーで楽しめる「みんなのキッチン」の開催、世界のスポーツを楽しんでいただく「みんなでスポーツ」コーナーでは、ポッチャ・モルックを紹介することで、多くの来場者に楽しんでいただきました。新会場のために準備が大変でしたが、実行委員会の下部組織として「運営委員会」を設け、多くのボランティアの方々のご協力を得て、組織的に対応することでできたことも成果の一つとなります。

「こどもプラザ」の事業は、国内の在留外国人の急増に伴い、外国にルーツのあるこどもたちの

日本語習得の社会問題を受けて始めた事業ですが、新型コロナウイルス感染症の沈静化に伴い、2023年12月末には日本語習得の支援を必要としている児童数がさらに増加し過去最高の1,500人に達しました。このため教育委員会事務局等との連携を強化し、柔軟にそして素早く子どもたちを受け入れできる体制の強化を目指し、情報ネットワークの再構築をしているところです。2023年度の「こどもプラザ」の特徴として、民間企業との連携が強まり、資金調達として阪神高速道路(株)、(株)NTTドコモの助成を受けたことが挙げられます。さらに、(株)高島屋の労働組合との連携も強化することができました。今後も社会問題の解決の一環として企業との連携を強化したいと考えています。今後は、大阪市教育委員会事務局、区役所及び校長会、小学校等との連携を密にし、子どもたちに寄り添った支援を継続して参ります。

1. NGO/NPO 間の連携促進事業（会員向け事業）

会員数＝正会員 35 団体、賛助会員（団体）0 団体、賛助会員（個人）0 人
（2024年3月31日現在）

＊団体名は本報告書末に一覧表を掲載

（1）会員サービスの充実

〔内 容〕 会員間の情報交換、経験の共有を図るとともに、会員それぞれが有する専門性や経験情報・人材を活かせるように連携や協働の促進に努めました。

① 会員名簿の発行

発行部数 50部 配布先 会員団体

② 講演会の開催

タイトル:「2025年大阪・関西万博の最新動向について」

開催日時:令和5年6月23日(金)15:15～16:15 講演・質疑応答

※会員以外の近隣の住民の参加及び ZOOM にて一般の方々も視聴しました。

（2）会員への情報提供と会員活動への広報協力

〔内 容〕

① 会員への情報提供

- ・ 会員からの問い合わせについて、各種助成金情報や会員団体による主催事業情報、NPO 支援に関する情報発信をホームページにアップし、昨年引き続き Web で配信しました。
- ・ 本年度はメールマガジンを 26 回配信することができました。情報の配信を継続することで、会員間の情報の共有が可能となり、また会員以外の団体等に会員の活動内容を配信することで、有効な情報拡散ができましたことを報告させていただきます。

② ホームページ・SNS による情報発信

- ・ 情報発信方法として、ホームページの掲示板からのイベント情報、ボランティア

情報、求人情報、助成金公募などの情報を本年度も継続して配信しました。

・ホームページの掲載内容を、Facebook、Twitter、Instagramからも配信し、多くのフォロワーを獲得することが出来ました。

- ③ ワン・ワールド・フェスティバルが新たな会場「梅田スカイビル」での開催となり、梅田スカイビル HP でのリリース等により多くの来場者が訪れ、出展ブースでの会員団体の紹介、SNS を利用した配信により広く告知ができました。

(3) 会員と企業や団体の連携による事業

- ① 会員が主催するイベント等で、運営のサポートの一環として、HP 及び SNS にて広報連携することができました。
- ② 会員及び団体並びに企業との連携事業として開催される「ワン・ワールド・フェスティバル」は大変重要で、連携プログラム（出展ブース、セミナー、ステージ）に参加し、参加団体の活動内容を相互に理解できる交流の場として、将来的には NPO/NGO と企業との連携が密になるような関係醸成を推進して参ります。
- ③ 会員の自主活動事業の協働支援として、活動状況を効果的に広報するため当協議会が配信するメールマガジンにて紹介し、広報サポートを継続しています。

2. NGO/NPO と多分野の団体、他機関との連携促進事業

(1) 第 31 回ワン・ワールド・フェスティバル

2024 年 2 月 3 日、4 日の両日、第 31 回目となる今回のワン・ワールド・フェスティバル（以下「OWF」という。）は、従来の北区民センター等の扇町エリアから、JR 大阪駅北側に位置し訪日外国人も多く集まる「梅田スカイビル」に会場を移し、「共に生きる世界を～みんな Waku Waku!～」をテーマに開催いたしました。

会場のメインは、NPO/NGO 等の 79 団体に出展を頂いた「展示ブース」となります。ここでは、SDGs17 項目の達成に向けた各団体の活動を 5 つのグループに分けて紹介し、これらの取り組みを「見て、聞いて、理解する」ことができる大変有用なプログラムとなっています。2030 年に向けて SDGs の目標を達成することが、「誰一人取り残さない社会」の実現へと繋がります。OWF を継続して開催することで、輝かしい未来社会に向かって一步を踏み出す動機づけとなっていることは確かなことです。

また、梅田スカイビル・タワーウエスト 4 階会議室では、出展団体によるセミナーやワークショップも開催され、現在世界で起きている社会問題を取り上げ、市民と一緒に考え、意見を交換する貴重な場を設けることができました。また梅田スカイビル・ステラホール・ホワイエでは各国の民族舞踊や民族音楽等を披露することができました。梅田スカイビル・ワンダースクエア、梅田スカイビル・タワーイースト 36 階では「みんなでスポーツ」として、モルック、ポッチャ競技も開催しました。また、昨年に引き続きメキシコ発祥のルチャリブレを起源とする大阪プロレスにも参加していただきました。さらに、各国料理を楽しんでいただける食事ブースではキッチンカー及びテントにて出店して頂き、空中庭園展望台を訪れたインバウンドの外国のお客様とも相まって、インターナショナル・フードコートとし

て大変な盛り上がりとなりました。また、本年度で4回目の開催となりました「動画コンテンツ」も実施することができましたこと報告させていただきます。

この開催に当たり、参加して頂いた多くの団体の皆様のほか、場所をお借りし様々なご協力をいただきました積水ハウス梅田オペレーション株式会社様、そして外務省、総務省、文部科学省、経済産業省、環境省、関西領事団、大阪府、大阪市、堺市をはじめとする省庁・自治体並びに教育委員会、各種団体、学校、企業等の皆様方には、運営協力、ご後援、ご協賛などの形で多大なご支援、ご協力をいただきました。また、事前準備や当日のボランティアとして多くの皆様にご協力を頂きました。改めて心より厚く感謝を申し上げます。

開催にあたり何かと不備な点がございましたが、その反省は次回以降の運営にしっかりと活かしていきたいと考えています。



三木理事長の挨拶



オープニングセレモニーの様子



出展ブースの風景

【開催概要】

- 【開催日】 ①会場（リアル）開催：2024年2月3日（土）～2月4日（日）
②オンライン開催：2024年2月1日（木）～2月29日（木）

- 【場 所】 ①梅田スカイビル・梅田ステラホール
②梅田スカイビル・タワーウエスト4階会議室
③梅田スカイビル・ワンダースクエア、梅田スカイビル・タワーイースト36階
●オンライン開催：ワン・ワールド・フェスティバル 公式HP

【入場者数】 約24,000人

【視聴者数】 約15,245回数

【参加団体】 156団体（会場：122団体、オンライン：34団体）

【プログラム数】 180プログラム（会場：143プログラム、オンライン：37プログラム）

【ボランティア数】 延べ211人

【実施方法】 実行委員会形式

【協賛団体】

(株)アクティブ・エステート、イワサ(株)、(株)ウィザス(第一ゼミナール・第一学院高等学校)、(学)上田学園、(学)エール学園、大阪府生活協同組合連合会、大阪プライム法律事務所、(一社)大阪労働者福祉協議会、(株)大塚商会、(株)大番、音羽電機工業(株)、カンサイ建装工業(株)、近畿労働金庫、サラヤ(株)、(宗)真如苑、(株)ジャスピコ、大日本除虫菊(株)、(株)ダシーズファクトリー、新居合同税理士事務所、日本インプラント(株)、(一財)日本国際協力センター、日本労

働組合総連合会大阪府連合会、(株)ベネシード、ミナミまち育てネットワーク、(株)リゾートライフ

〔運営協力〕

大阪プロレス、川西モルックの会、(公財)京都市国際交流協会、サラヤ(株)、サントリーホールディングス(株)、ジャトー(株)、専修学校クラーク高等学院大阪梅田校、(株)創縁舎、東豊配送(株)、(株)トライアングル、(株)阪神インダストリアルテクノロジー、(特活)パラスポーツサポーター、民舞胡蝶

〔後援団体〕

外務省、総務省、文部科学省、経済産業省、環境省、関西領事団、大阪府、大阪市、堺市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会、大阪府PTA協議会、大阪市PTA協議会、堺市PTA協議会、大阪商工会議所、(公社)関西経済連合会、(一社)関西経済同友会、(公財)関西・大阪21世紀協会、(公財)大阪観光局、(公社)2025年日本国際博覧会協会、(公社)大阪府看護協会、大阪弁護士会、日本労働組合総連合会大阪府連合会、(一財)自治体国際化協会、(公社)日本ユネスコ協会連盟、(公財)ユネスコ・アジア文化センター、関西SDGsプラットフォーム、(公財)大学コンソーシアム京都、(特活)大学コンソーシアム大阪、(特活)南大阪地域大学コンソーシアム、(公社)日本WHO協会、(一財)大阪教育文化振興財団キッズプラザ大阪、梅田スカイビル商店会、北区商店会総連合会、ミナミまち育てネットワーク、聖天通商店街振興組合、(公財)ワールドマスターズゲーム2021関西組織委員会

〔準備活動〕

① 実行委員会の結成

* 2023年5月16日に第1回実行委員会を開催し、下記の団体で実行委員会を結成。

* 構成団体：(独)国際協力機構関西センター、(公社)アジア協会アジア友の会、(公社)アムネスティ・インターナショナル日本・関西連絡会、(認活)大阪NPOセンター、(一社)大阪青年会議所、(一社)南太平洋協会、イワサ(株)、(株)エキスプレス、(株)ディーボックス、(特活)関西国際交流団体協議会(全10団体)

※今回より実行委員会の下部組織として運営委員会を設け、OWFの事業運営を執行する機能を有することになりました。2チーム及び5グループで組織し、各々のチーム及びグループにボランティアを配置し、事前準備及び当日の開催をスムーズに運営する役割を担い、多大な貢献をしていただきました。

② 実行委員会の開催

* 実行委員会は5月から毎月開催し、イベント開催月の前月の1月には2回開催、合計10回開催しました。

2023年5月16日、6月13日、7月11日、8月8日、9月12日、10月10日、11月14日、12月12日、2024年1月9日、1月26日

③ 出展団体の募集期間

* 出展ブース、セミナー、ステージ及びオンラインブースの参加団体の募集期間

2023年8月21日(月)～10月16日(月)

* ワンフェス動画コンテストの募集期間 2023年7月20日(木)～12月23日(土)

〔プログラム実施内容〕

① 出展ブース (79 団体、81 ブース)

* NGO/NPO、ODA 機関、教育機関等 79 団体が参加し、SDGs の取組活動を紹介しました。この出展ブースは、SDGs17 項目の達成に向けた各団体の活動を 5 つのグループに分けて紹介し、これらの取り組みを「見て、聞いて、理解する」ことができる大変有用なプログラムとなっています。また、今回から SDGs の達成に向けた活動及び社会貢献活動を積極的に行っている企業の活動内容を紹介するブースを設けました。



出展ブースの会場の風景

② セミナー・ワークショップ (14 団体、12 プログラム)

* 現在世界で起こっている社会問題等を取り上げ、国際交流の在り方、国際協力の人材の育成等市民一人ひとりに何ができるのかを議論し、参加者に動機付けができるセミナーを開催することができました。また、モンゴル人の生活の知恵等の文化紹介、ニジェールの寺子屋で学ぶ子どもたちをモチーフにした「ニジェール物語」の上映会等、一緒に考え意見を交換できる多彩な内容となりました。



梅田スカイビル・タワーウエスト4階会議室セミナーの風景

③ ステージ (12 団体、17 プログラム)

* 世界各国の民族舞踊及び民族音楽をステージで展開する従来の国際色豊かなプログラムと、世界の紛争地域を取材し情報を発信している堀潤氏の講演、SDGs の活動を積極的に行っている企業の商品開発のシンポジウム等、多彩なプログラムを実施しました。また、万博の機運醸成のマスコット「みやくみやく」も参加し、来場者と一緒に「盆ダンス」を楽しむことができました。



ステージの風景

④みんなのキッチン（16 団体（キッチンカー12 台、テント 4 店舗））

*ワンダースクエアでは、世界の料理を食べることができる「みんなのキッチン」を開催し、国際色豊かな料理を提供するキッチンカー12台と4店舗の屋台に多くの来場者が詰め掛け、世界のグルメを楽しんでいただきました。真冬の開催で人出が危惧されましたが、開催中天候に恵まれたこともあり、インバウンドのお客様も多く訪れ、梅田スカイビルの世界でも類を見ない連結超高層ビルの独特なデザインと雰囲気とが相俟って、国際交流の「場」として大変な盛り上がりとなりました。



みんなのキッチン（ワンダースクエア）会場の風景

⑤みんなでスポーツ（3 団体、12 プログラム）

*ワンダースクエアで開催された世界の珍しいスポーツを紹介する「みんなでスポーツ」は、パラスポーツとして認知度が高まっている「ボッチャ」やフィンランド発祥の「モルック」を紹介し、来場者に自由に参加していただくプログラムとなっていたため、子どもからシニアまで多くの参加を募ることができ大盛況となりました。

また、メキシコのルチャリブレが起源とされる大阪プロレスの試合も行われ、屋外での寒い中、鍛えられたレスラーから次々と繰り出される妙技に大きな歓声や拍手が会場に響き渡りました。なお、ボッチャ体験は梅田スカイビル・タワーイースト 36 階スカイルーム 2 にて実施しました。



みんなでスポーツの風景

⑥外務省写真展「世界の仲間と未来をつくる」の開催

* 毎年恒例となりました「外務省の写真展」は、来場者が行き交う梅田スカイビル・タワーウエスト 3F ステラホールロビーでの開催となりました。互いに協力し、少しでもこれからの世界がより良いものになるように、と願いを込めて開催されたフォトコンテストに応募された作品が展示されました。来場者には国際協力につながる一コマ一コマの作品を通じて「国際交流の大切さ」を感じていただきました。



外務省写真展の風景

⑦避難民テントの展示（1団体）

* ワンダースクエアにて、国連 UNHCR 協会の難民テントの展示が行われました。

実際に避難地で使用されているテントの中に入り、避難民が置かれた困難な状況に思いを馳せ、実際に起こっていることを想像しながら疑似体験ができる、貴重な体験プログラムとなりました。今回は、難民についての現況報告をセミナー会場で実施しました。



テント展示(国連UNHCR協会)の風景

⑧体験型イベントの実施等（実行委員会の主催）

* 世界の民族衣装の着付け体験、SDGs ワークショップ、世界の異文化体験（メキシコのピニャータ制作）等を実施しました。また、来場者にパスポートを渡し、会場で実施されているプログラムを巡りながら、決められた場所でスタンプを集めると景品がプレゼントされるパスポート（スタンプラリー）を企画し実施しました。



体験型イベントの風景

⑨「能登半島地震」支援・地震災害情報ブース

*「能登半島地震」の被災者救済のために支援・地震災害情報ブースや募金箱を設置しました。開催2日間で計121,443円の寄付金が集まり、この寄付金を被災地に寄付しました。



「能登半島地震」支援・地震災害情報ブースの風景

⑩第4回ワンフェス動画コンテスト（22グループ、22プログラム）

*動画コンテストには、小・中・高校生部門の応募作品7作品、専門・大学生・社会人部門の応募作品15作品、全体で22作品の応募がありました。前回に引き続き4回目の開催となります。SDGsの理念や国際協力、国際交流への理解を深めるツールとしての役割を果たしています。



動画コンテスト 小・中・高校生部門 最優秀作品



動画コンテスト 専門・大学・社会人部門 最優秀作品

⑪スポンサーチャンネル（12団体、15プログラム）

*ワン・ワールド・フェスティバルにご協賛及びご支援をいただいている企業のCMやCSR活動を配信するものです。

（2）こどもプラザ

【事業の概況】

2023年度の「こどもプラザ」の事業は、コロナの影響もなく順調に推移しました。本年度の特徴として、民間企業との連携が強まり、資金支援については阪神高速道路(株)、(株)NTTドコモの助成を受けることができたことが挙げられます。また、(株)高島屋の労働組合の方々に、10月(7名)と12月(10名)にボランティアとしてこどものご指導をいただくことができました。ボランティアの方々は、東京、京都、岡山、大阪など全国から集まっていただきました。今後も社会問題の解決の一環として企業との連携を強化したいと考えています。

こどもの受入状況は、4月～5月はこどもの人数が少なかったものの、その後徐々に増加し、3月時点で9名の登録者があり、国別ではベトナム4名、中国5名となっています。

昨年12月時点で、大阪市内の在留外国人数が過去最多となり、日本語のサポートを必要としている児童数は、2024年3月末時点で1,500人を超えている状況下にあります。来日した子どもを最初に世話をする「プレスクール」と連携しながら、子どもの受け入れについて柔軟に対応しているところです。また、大阪市教育委員会事務局、区役所及び校長会、小学校等との連携を密にし、確かな情報を得ながら子どもたちの支援を継続して参りたいと考えています。

今後は、民間からの助成金を募り、中学生の受け入れにも対応できるようにしたいと考えています。また、子どもプラザの事業を水平展開するために、グッドガバナンス認証を活かし、今後は分配団体として休眠口座を所轄する(一財)日本民間公益活動連携機構(JANPIA)の助成を受ける準備を進めたいと考えています。

【事業の成果】

【令和5年度事業実施の成果】

1) 事業期間	2023年4月1日～2024年3月31日	
2) 実施回数	① 子どもの日本語習得実施回数	47回
	② 保護者の日本語習得実施回数	47回
3) 参加者数	① 子どもの延べ参加人数	256人
	② 保護者(主に母親)の延べ参加人数	201人
	③ ボランティア指導員延べ人数	303人

※ボランティアを募るのが難しく、公的な媒体及びチラシ、HP等で告知をしていますが、人数確保に四苦八苦している状況が続いています。



子どもプラザの授業風景



保護者の日本語習得の風景



ハロウインの記念写真

3. 国際交流・国際協力・市民活動に関する情報収集と提供事業

(1) NGO/NPOに関する情報の収集・提供事業

〔目的〕 国際交流・国際協力に関する多様な情報収集と提供を行う

〔内容〕 関係機関からの情報を整理し、ホームページ上で「新着情報」として取り上げ、タイムリーに配信することを継続しています。また、PICK UP情報として、イベントの情報を詳しく紹介するコーナーも設け、情報発信の充実を図りました。各団体からの掲載の依頼なども新着情報と併せてメールマガジンに掲載し、約658団体に配信を行っています。

●メールマガジンの配信実績

①関団協ニュースレター	16 回配信	Vol. 128～Vol. 143
②その他のニュース配信	10 回配信	

●メールマガジンの主な配信先

①関団協の会員	35 件
②OWF 関係団体及び過去の出展者	149 件
③OWF のボランティア	105 件
④その他関団協との関係者(過去の会員団体を含む)	369 件
配信件数合計	658 件

4. 開発教育・市民意識啓発と活動への参加促進事業

(1) 国際理解（世界で起こっている社会問題等）の教育の促進

OWF の会場で開催される SDGs の活動を「見て、聞いて、理解する」プログラムとして、出展ブースを教育の場とし活用し、中学生、高校生、大学生の学ぶ場としての役割を果たすように努めてきました。今回は、奈良・育英西中学生約 80 名が会場を訪れ、生徒各自が出展ブースを巡り生徒一人ひとりの目線(考え方)で、自分に合った課題を選び、出展ブースの団体にヒアリングを行い、自分の考えをまとめる、という学習体験をしていただきました。

〔期 間〕 2024 年 2 月 3 日（土）

〔会 場〕 梅田ステラホール「出展ブース」

〔参加人数〕 奈良・育英西中学 1 年生（生徒約 80 名）引率先生 2 名

(2) 人材育成事業（留学生のインターン受入）

学校法人エール学園の推薦により、3 名の留学生を受け入れ、国際交流・協力を目的とした「ワン・ワールド・フェスティバル」の開催に伴う、企画、折衝、プログラムの制作の補助、イベント参加者の対応等、イベント開催の運営の実践を学ぶインターンシップを実施しました。

〔期 間〕 2023 年 10 月 1 日～2024 年 2 月 15 日

〔対 象〕 学校法人エール学園 留学生 3 名（ベトナム出身者 3 名）

〔内 容〕 イベント企画の内容のチェック、実行委員会における企画の承認、イベント参加団体の募集、募集のためのポスター及び募集ツールの作成、過去に参加された団体等への募集要項の発送、応募者受付及びリストの作成、イベント告知ツールの作成、チラシの作成等運営について実践的に学べる内容となっています。また、開催当日もイベントに参加し、企画したことが実践される過程を学ぶことができました。

5. NGO／NPO の基盤強化事業

NGO/NPO の基盤強化のために法律や税務等のエキスパートと連携し、NGO/NPO 等の団体がスムーズにサービスを受けることができるシステムを構築しています。

※会員等団体から申し出があれば、協議会から各エキスパート関係者に予約を打診し、その後会員等団体の相談者が直接エキスパートに相談するシステムにて運用しています。

〔事業の内容〕

本年度の事業については、会員からの具体的な申込がなく、どのような場合に利用できるのかの質問等に留まっています。このため、今後は積極的な PR を行い NPO 等の基盤強化に貢献したいと考えています。

6. 調査研究・提言事業

当協議会は、国際交流・協力の中間支援組織としての経験や情報、及び NPO 法人としての視点を活かすとともに当該関係者の実情や声を施策に反映できるように努め、OWF 実行委員会等で得られた情報を事業に活用することで、その貴重な情報を関係者にフィードバックすることに努めて参りました。特にこどもプラザの外国にルーツのあるこどもたちの受入状況及び日本語習得の進捗情報等については、社会的な問題を解決するための有用な情報となるため、東住吉区、平野区、生野区の小学校校長会での情報提供を行っています。今後も継続して大阪市教育委員会事務局及び近隣区役所の小学校校長会との連携を継続することにしていきます。

2023 年度 12 月の在留外国人は過去最高となり、大阪市内の人数も過去最高となっています。このように多くの在留外国人が居住するようになると多くの問題が発生します。特に日本で生活に困窮する等、生活するための問題が発生しても問題解決する術を知らないという問題も発生しているのが現実です。このため、このような問題を解決するために、毎年 2 回「外国人の住みやすい大阪」を考える関係機関等連絡会議（事務局＝大阪国際交流センター）が主催する「1 日インフォメーションサービス」を開催しています。当協議会も主催者メンバーとして参加し、開催当日は事務局員が参加しています。この事業は、次年度も継続する予定です。

関西ボランティアネットワーク会議（KIV-NET）では、当協議会がメンバーとして他の参加団体とボランティアについての情報を共有しています。特に、2025 年大阪・関西万博の開催期間中には多数のボランティアが必要となるため、KIV-NET の加盟団体は積極的にボランティアの応募の促進に協力することになっています。万博のボランティア募集総数は 20,000 人となっていますので、引き続き連携しながら対応することとしています。

会員団体一覧

(2024年3月31日現在)

正会員 35 団体

<正会員>

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| (公社) アジア協会アジア友の会 | (公社) 青年海外協力協会 JOCA 大阪 |
| アジアセンター 21 アジア図書館 | 忠岡町国際交流協会 |
| (一財) アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪) | (特活) ナック (NAC) |
| (公社) アムネスティ・インターナショナル日本・関西連絡会 | (一財) 日本国際飢餓対策機構 (Hunger Zero) |
| 茨木市国際親善都市協会 | (一財) 日本国際協力センター関西支所 |
| (学) エール学園 | (特活) 日本多文化交流協会 |
| (公財) オイスカ関西支部 | 日本・ドミニカ共和国、キューバ共和国、ハイチ共和国友好協会 |
| (公財) 大阪国際交流センター | 日本・ベルギー協会西日本支部 |
| (一社) 大阪青年会議所 | (公社) 日本ユネスコ協会連盟 |
| 大阪日米協会 | 日本労働組合総連合会・大阪府連合会 (連合大阪) |
| (認活) 大阪府高齢者大学校 | パナソニックグループ労働組合連合会 |
| (公財) 大阪YMCA | 東大阪市国際交流協会 |
| (公財) 大阪YWCA | ファミリー&フレンズ・プロジェクト |
| (一財) 海外産業人材育成協会関西研修センター | (一社) 南太平洋協会 |
| 関西日英協会 | |
| 関西日豪協会 | |
| 関西日本・スイス協会 | |
| 関西日本・フィンランド協会 | |
| (公財) 京都市国際交流協会 | |
| (独) 国際協力機構関西センター (JICA 関西) | |
| (公社) C I S V 日本協会関西支部 | |

五十音順・敬称略

なお、日本・ドミニカ共和国、キューバ共和国、ハイチ共和国友好協会様が 2024 年 4 月 15 日付で退会されます。